

フィールド風

(現場)からの風

宮田守男

平昌オリンピックから半月経つが、記憶に残る物語の感動は強く心に刻まれている。地元銀メダリスト渡部暁斗選手、負傷を隠し

ながら臨んだノルディック複合の男子個人ノーマルの後半距離、強風が吹く後半距離で、ずっと誰かの後について体力を温存する手もあっただろうが、フェアな戦いを先頭で集団を引っ張る戦い。けがを乗り越え、連覇を果たしたフィギュアスケート男子の羽生結弦選手。年間300日以上も寝食をとともに、「同じ釜の飯」で勝ち取ったスピードスケート女子団体追い抜き。『そだねー』で日本中を『ほっこり感』にしたカーリング女子。活躍した選手から発せられる多く

の言葉の豊かさに、日本人としての誇りを強く感じたのは私だけではないはずだ。全国から届き始めた春の便りと共に人材問題を起因とした値上がり情報が続く。総務省の2018年1月1日時点の20歳の新成人は123万人、総人口の1%弱で、8年連続して1%を割り込んだ。国立社会保障・人口問題研究所は25年には108万人になるとの推計だ。大町市も10年間で3714人減の2万8000人を割り込み、特に美麻・八坂

の合併後の厳しい現実が情報発信された。信濃毎日新聞でも、平成の大合併で市と合併した県内の旧町村部の人口が10年間で約1割減となったと伝え、これらの地域では、集落維持や買物、交通などの

ピークは66年の249万人、以後減り続け17年にはピークから4割以上減少した約120万人。今後大学入学者はおよそ60万人から1割も減少し、多くの大学経営が頓挫してしまうとの見通しだ。

豊かな地域を存続させるため 人口問題は広域的視野が必要だ

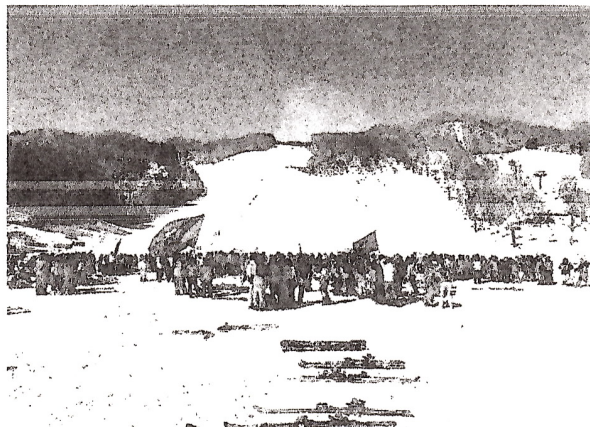
課題が他に先行している、深刻化は大北地域だけの問題でないとの報道。

政府は、東京一極集中是正の取り組みを強化しているが、効果が期待できるか不透明だ。日本の18歳人口の

大学側も優秀な学生を輩出したいと、これまで以上に学生に勉強時間を求めるに違いない。これまで、低コスト賃金で支えてきた学生アルバイトの確保は増々厳しさを増すだろう。雇用者有利の職場

環境で、地方で雇用を望む人材が激減するのは避けられない状況の中で、大北地域として地域を存続させる雇用の在り方について、行政のみでなく地域経営

者とも知恵を練る展開が求められていると考えるべきだろう。(NPO法人信州地域社会フォーラム理事・白馬村森上)



全国歴史あるの半世紀の影響か、減少の学生数学生若岳スキー大会の男女団体競技を観戦する会場も年々寂しさを漂わせる